



No. 5
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
令和3年度第4回

一般国道165号
やま と た か だ
大和高田バイパス

【再評価】

令和3年11月
近畿地方整備局

新型コロナウイルス対策に伴う工事等の一時中止による
コスト、工期への影響は考慮していない

目 次

1. 事業全体図
2. 事業の概要
3. 事業の必要性等に関する視点
 - 1)事業を巡る社会経済情勢等の変化
 - 2)事業の整備効果
 - 3)事業の投資効果
 - 4)地域における計画等
4. 事業の進捗の見込みの視点
5. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点
6. 関係自治体の意見
7. 対応方針(原案)

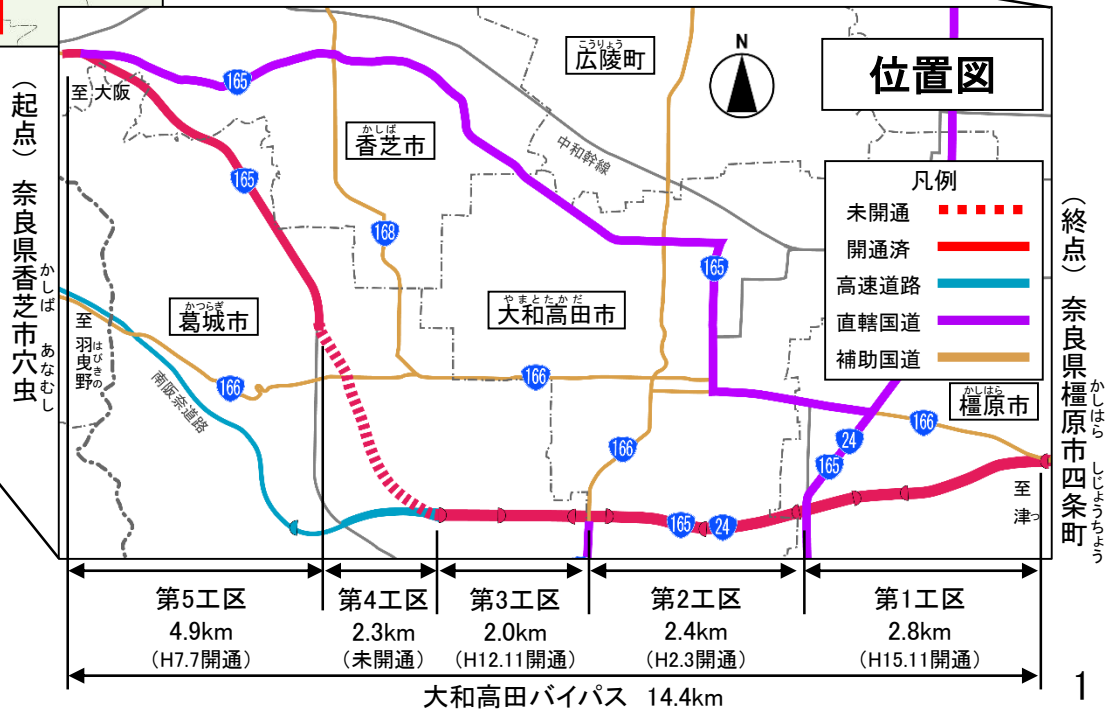
1. 事業全体図

広域図



一般国道165号は、大阪市北区を起点とし、奈良県大和^{やまとへいや}平野地域の南部を經由して三重県津市に至る全長約125kmの主要幹線道路です。

大^{やまとたかだ}和高^{かしば}田^{かしはら}バイパスは、奈良県香芝市から橿原市内の一般国道165号における交通混雑の緩和、交通安全の確保を目的とした延長14.4kmの道路です。



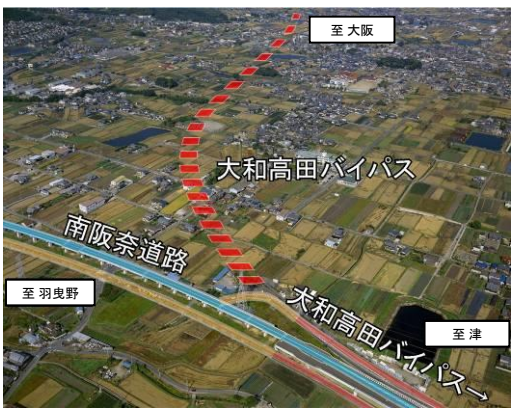
2. 事業の概要

事業の目的

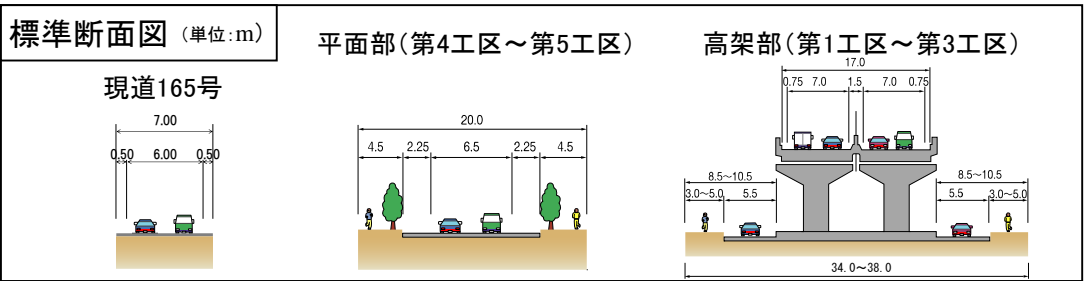
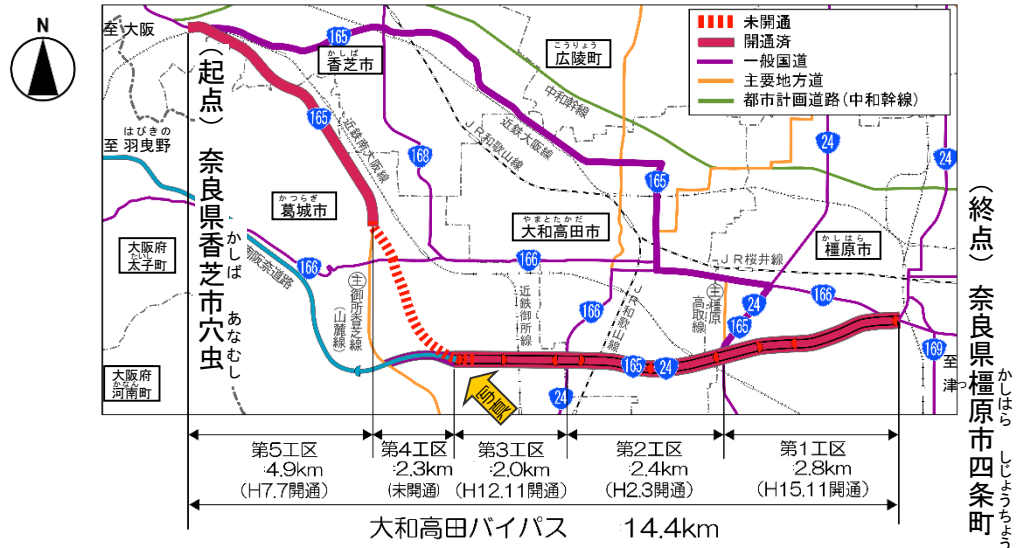
- 交通混雑の緩和
- 交通安全の確保

事業の概要・進捗状況

区間	(起) 奈良県香芝市穴虫 (終) 奈良県橿原市四条町
道路延長	14.4km
構造規格	平面部：第4種第1級 高架部：第3種第1級
設計速度	平面部：60km/h 高架部：80km/h
車線数	平面部：2車線 高架部：4車線
標準幅員	平面部：20.0m 高架部：34.0~38.0m
計画交通量	27,100台/日
全体事業費	930億円
事業化	昭和43年度
都市計画決定	昭和47年12月
用地着手	昭和47年度
工事着手	昭和48年度
開通延長	12.1km
事業進捗率	約89% (令和3年3月末現在)
用地取得率	約92% (面積ベース、同上)



葛城市弁之庄付近（北西を望む）平成19年11月撮影

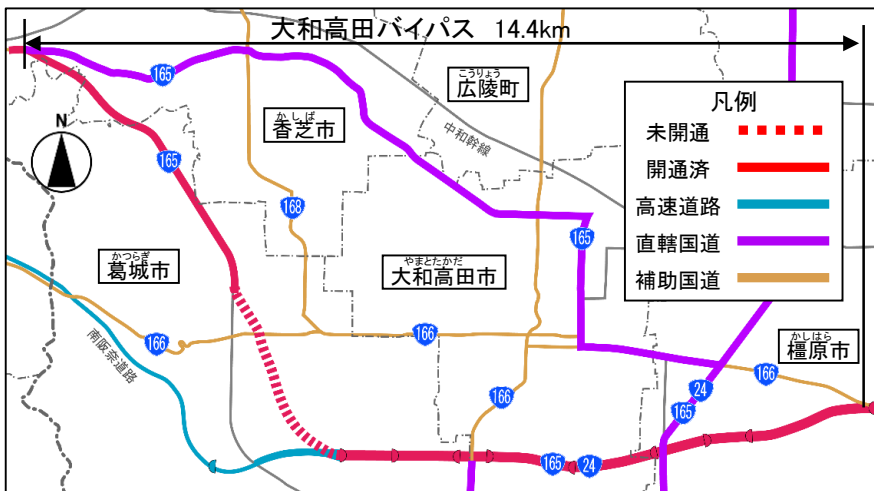


3. 事業の必要性等に関する視点

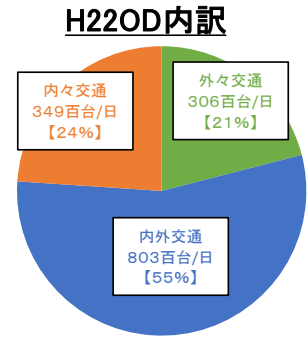
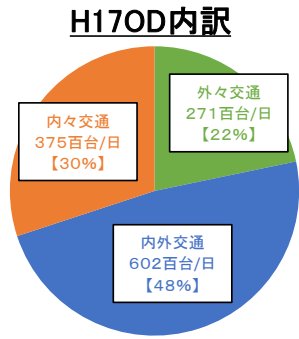
1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

※H28年度事業評価監視委員会の評価時点から大きな変化なし

- 事業の効果や必要性を評価するための指標の変化及びその他の周辺環境等について確認した結果、社会経済情勢の大きな変化はない。
- 一般国道165号を利用する交通特性は、内々交通が24%、内外交通が55%と沿線地域を発着地とする交通が約8割を占めている。



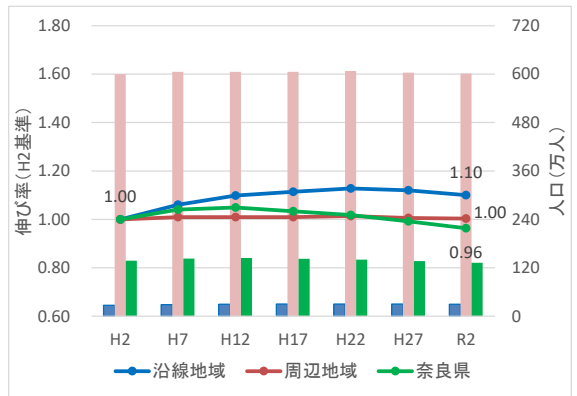
▼国道165号OD内訳



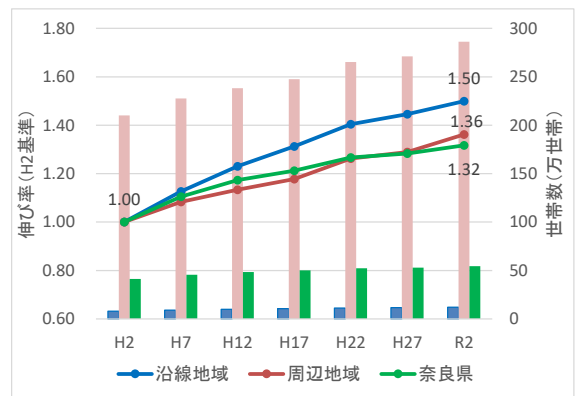
- 内外交通
- 沿線地域とその他の地域の交通
- 内々交通
- 沿線地域内の交通
- 外々交通
- 通過交通

※沿線地域とは、当該道路が通過する香芝市・葛城市・大和高田市・榑原市
 ※前回評価時(H28)は平成17年全国道路・街路交通情勢調査の現況OD調査結果を基に算出
 ※今回評価時(R3)は平成22年全国道路・街路交通情勢調査の現況OD調査結果を基に算出
 ※平成22年全国道路・街路交通情勢調査の現況OD調査結果が現時点で最新である

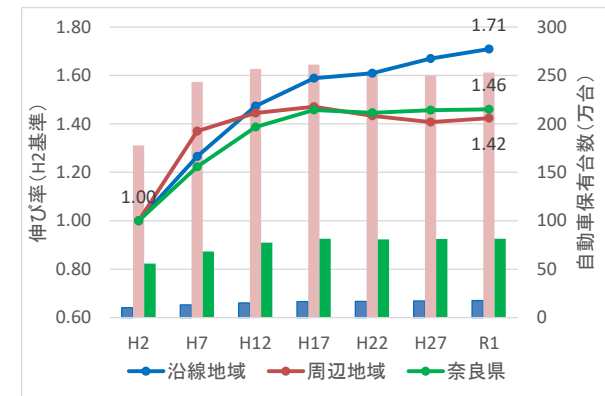
▼人口の推移(H2基準)



▼世帯数の推移(H2基準)



▼自動車保有台数の推移(H2基準)



※沿線地域: 香芝市・葛城市・大和高田市・榑原市、周辺地域: 当該道路を中心として半径がトリップ長中央値となる範囲円内に含まれる市町村

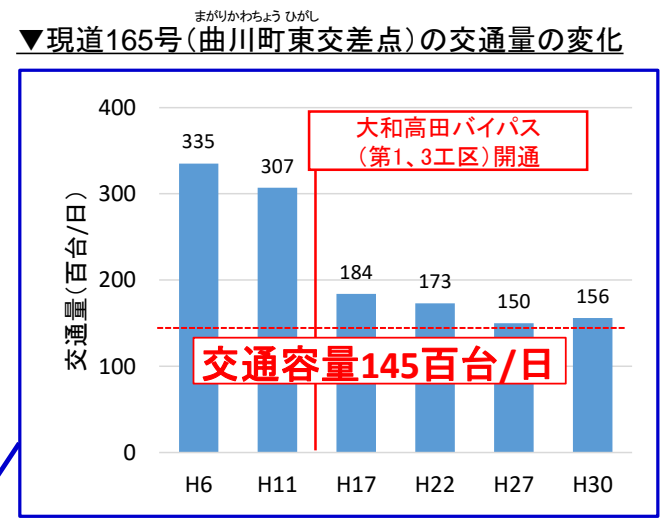
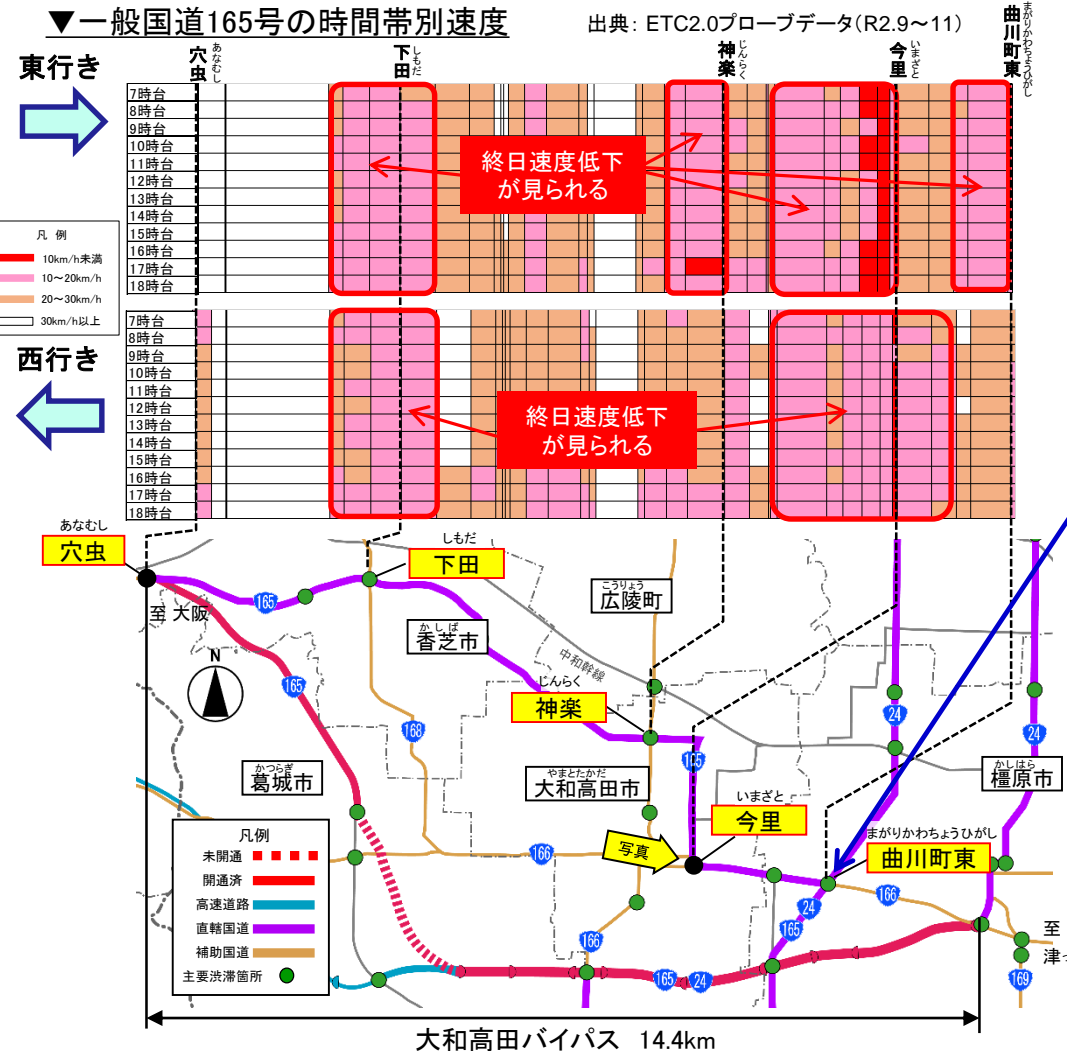
出典) 人口・世帯数: 国勢調査、自動車保有台数は各府県統計書

3. 事業の必要性等に関する視点

2) 事業の整備効果 (交通混雑の緩和)

※H28年度事業評価監視委員会の評価時点から大きな変化なし

- 大和高田バイパスの整備により交通が転換し、並行する現道165号では交通量が減少するものの、依然として交通容量を超過。
- バイパス整備により交通が転換し、交通混雑の緩和が期待。



出典: 全国道路・街路交通情勢調査(H6~H27)
奈良国道事務所調べ(H30.2.14日(水))

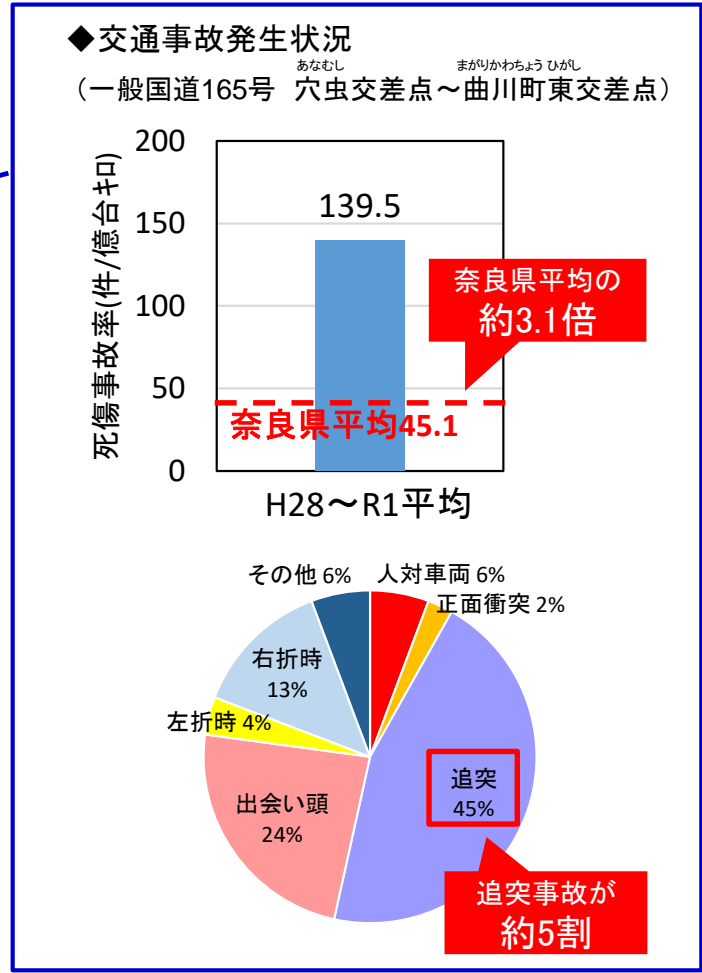
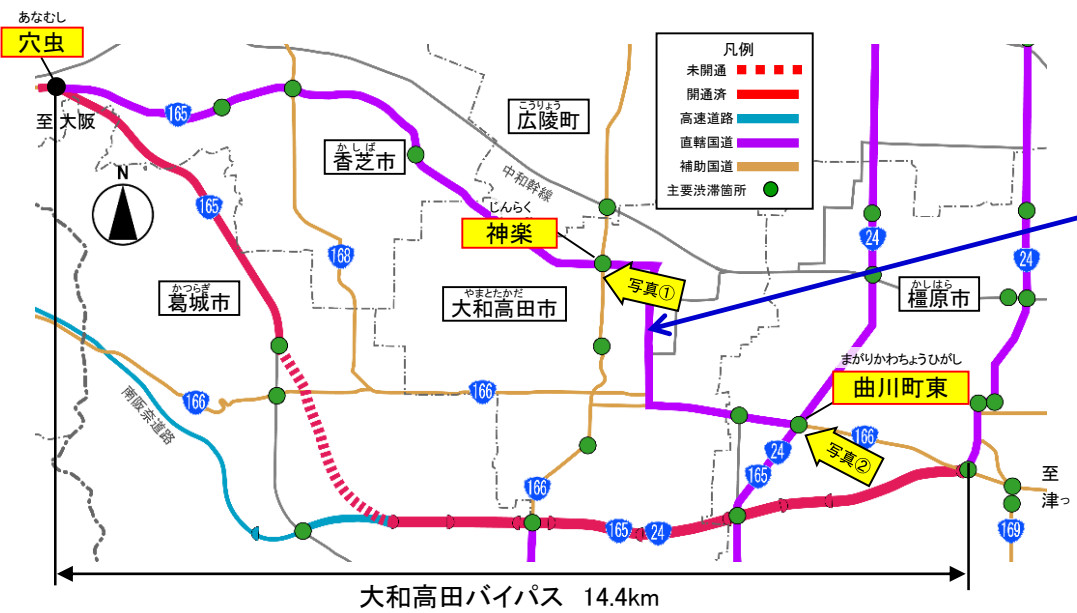


3. 事業の必要性等に関する視点

2) 事業の整備効果(交通安全の確保)

※H28年度事業評価監視委員会の評価時点から大きな変化なし

- 大和高田バイパスと並行する現道165号で発生する事故は、渋滞等に起因すると考えられる追突が全体の5割を占めており、死傷事故率は奈良県平均の約3.1倍となっている。
- バイパス整備により交通転換が図られ、交通混雑が緩和されることで、交通事故の減少が期待。



写真① 神楽交差点西側



令和3年9月7日(火)撮影

写真② 曲川町東交差点西側



令和3年9月7日(火)撮影

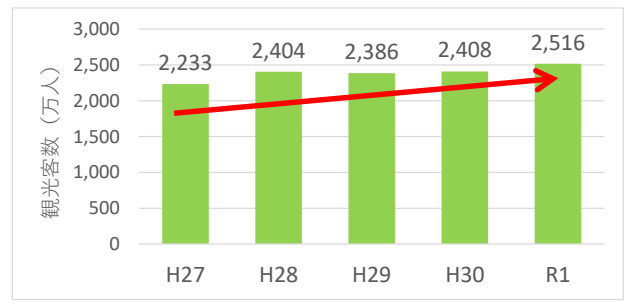
出典:平成28年～令和元年交通事故総合データ

3. 事業の必要性等に関する視点【参考】

2) 事業の整備効果(観光支援)【B/C算出における3便益以外の整備効果】

■ 奈良県西部および東部の観光客数は近年増加傾向にある。
 ■ バイパス整備により、西名阪自動車道への所要時間短縮など大阪方面からのアクセス向上が見込まれ、観光振興への寄与に期待。

▼ 県西部および県東部の観光客の推移

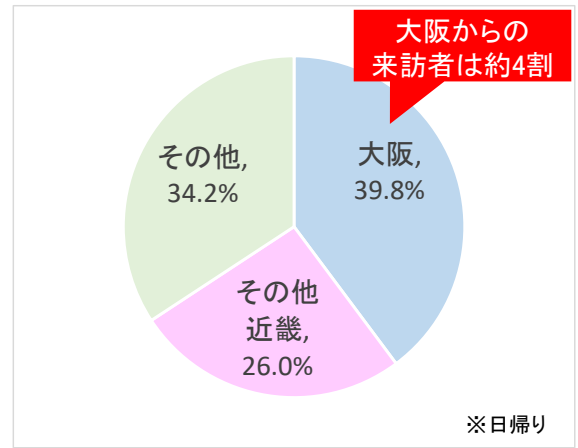


県西部: 大和高田市、大和郡山市、御所市、香芝市、葛城市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町

県東部: 天理市、橿原市、桜井市、宇陀市、曾爾村、御杖村、高取町、明日香村

出典: 奈良県観光客動態調査報告書

▼ 県外からの奈良県への来訪者の割合



出典: 奈良県観光客動態調査報告書

▼ 大阪方面から奈良県内の文化遺産および観光地へのアクセスルート



▼ 橿原神宮(国宝文化財)



出典: 橿原市HP(かしはら探訪ナビ)

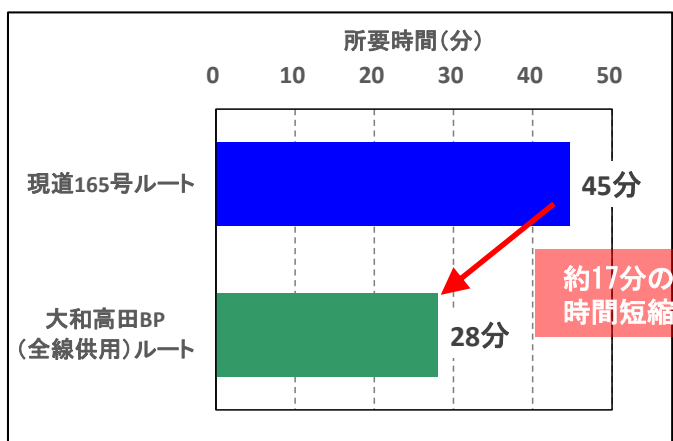
出典: 世界遺産暫定一覧表記載資産準備状況報告書H27.3.1(文化庁)

3. 事業の必要性等に関する視点【参考】

2) 事業の整備効果(地域医療の支援)【B/C算出における3便益以外の整備効果】

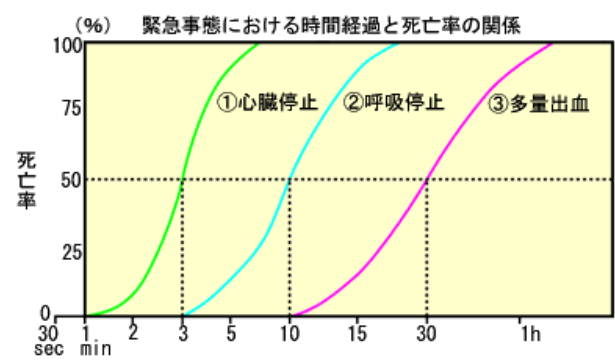
- 国道165号を通るルートでは、渋滞の影響を受けやすく、救急搬送の定時性が確保できていない。
- バイパスの整備により、救急搬送時間の短縮が見込まれ、地域医療支援に寄与。

香芝市役所～奈良県立医科大学附属病院の搬送時間

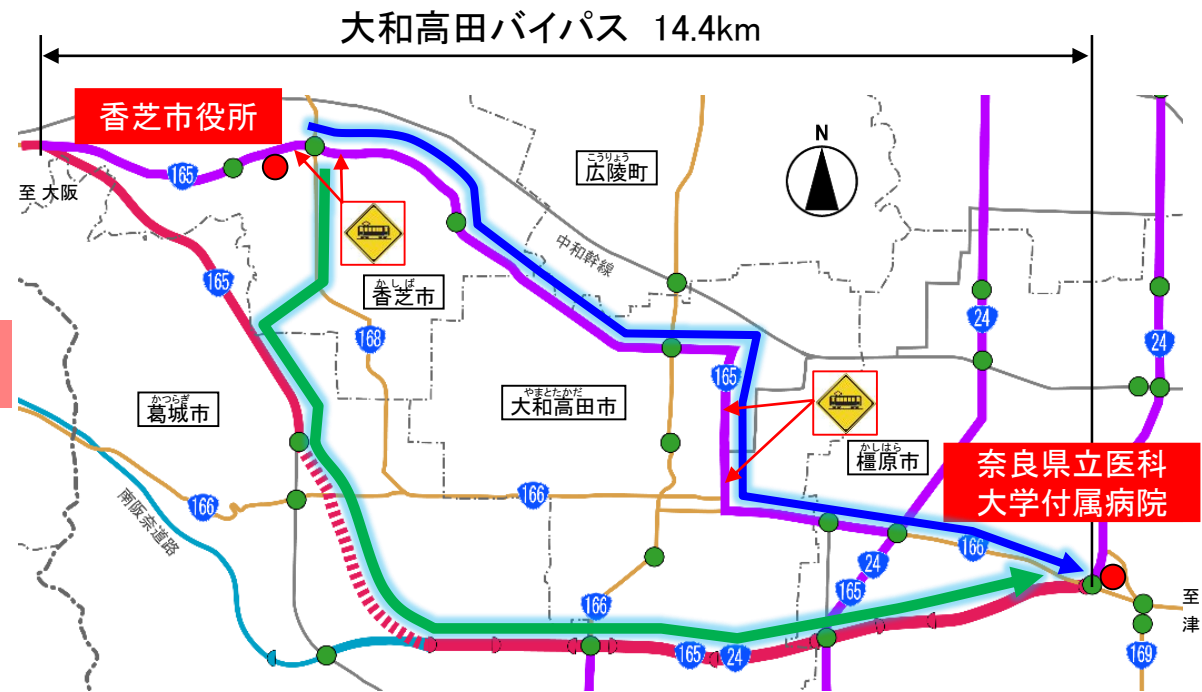


出典: H27全国道路・街路交通情勢調査より算出

▼ 緊急事態における時間経過と死亡率の関係



出典: M.Cara: 1981.「カーラーの曲線」



▼ 奈良県立医科大学附属病院(三次救急病院)



← 整備前

← 整備後

凡例

- 未開通 ■■■■
- 開通済 ■■■■
- 高速道路 ■■■■
- 直轄国道 ■■■■
- 補助国道 ■■■■
- 主要渋滞箇所 ●

出典: 橿原市HP(かしはら探訪ナビ)

3) 事業の投資効果

■ 便益 (B)

費用便益分析マニュアルに基づき、現時点における知見により、十分な精度で計測が可能でかつ金銭表現が可能である「走行時間短縮」、「走行経費減少」、「交通事故減少」について、道路整備の有無それぞれについて推計し算出。

■ 費用 (C)

道路整備に係る建設費、及び維持管理費で算出。

■ 事業全体

便益 (B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比 (B/C)
	2,980億円	277億円	58億円	3,314億円	
費用 (C)	事業費		維持管理費	総費用	
	2,973億円		100億円	3,074億円	

■ 算出条件等

- 基準年 : 令和3年度
- 検討期間 : 50年間
- 現在価値算出のための社会的割引率 : 4%
- 交通量の推計時点 : 令和12年度
- 交通量の推計手法 : 平成22年度
全国道路・街路交通情勢調査
- 適用した費用便益分析マニュアル : 平成30年2月版
- 事業費 : 930億円
- 維持管理費 : 45百万円/km
- 作成主体 : 近畿地方整備局

■ 残事業

便益 (B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比 (B/C)
	240億円	17億円	7億円	264億円	
費用 (C)	事業費		維持管理費	総費用	
	76億円		12億円	88億円	

- ※1 便益・費用については、現在価値化した値である
- ※2 便益・費用については整数値としており、合計値は表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある
- ※3 残事業については、基準年の翌年度以降の残事業費及び翌年度以降の供用により発生する便益で算出している
- ※4 推計に用いるOD表は現時点で最新の平成22年度全国道路・街路交通情勢調査を使用している
- ※5 参考: 前回評価資料 <https://www.kkr.mlit.go.jp/plan/ippan/zigyohyoka/ol9a8v000000cg01-att/15.pdf>

4) 地域における計画等

■地域計画等への位置付け

一般国道165号大和高田バイパスは、下記の計画に位置づけあり

- 葛城市: 葛城市総合基本計画(平成18年10月)
- 香芝市: 香芝市地域防災計画(平成27年3月)
- 葛城市: 葛城市都市計画マスタープラン2017(平成29年7月)
- 香芝市: 香芝市都市計画マスタープラン(平成30年3月)
- 奈良県: 奈良県道路整備基本計画(令和元年10月)

■要望経緯

○奈良県国道連絡会

(平成3年7月設立、奈良県内市町村の各首長)

<最近の動向>

令和3年9月に関係機関に対し、一般国道165号大和高田バイパスの整備促進を要望

4. 事業進捗の見込みの視点

1) 事業の進捗状況

令和3年度事業内容

・現在、調査・設計・用地取得を実施しています。

進捗状況

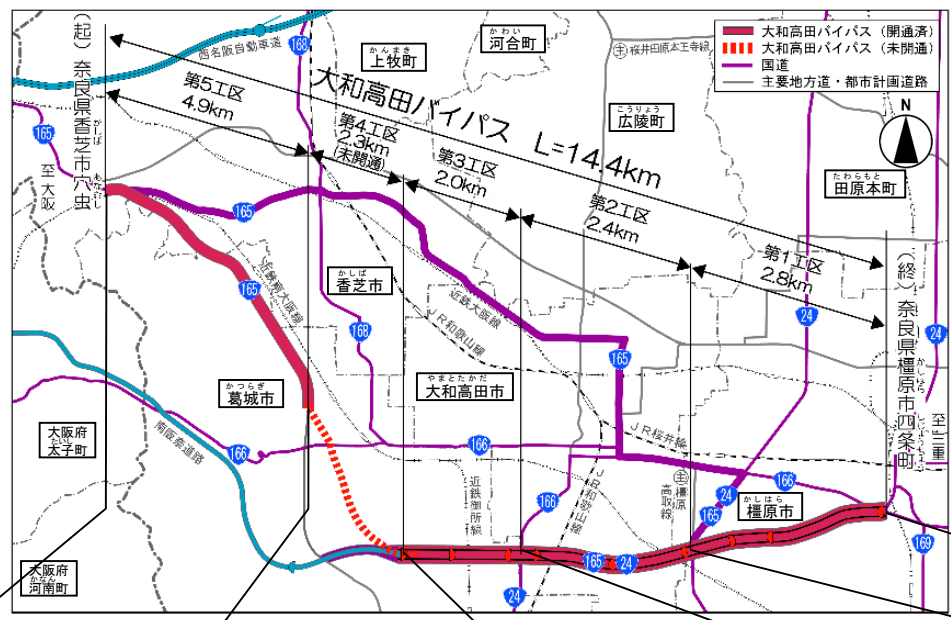
・令和3年3月末までの進捗は、用地進捗率約92%（面積ベース）、事業進捗率89%（事業費ベース）です。

事業進捗上の課題

・4工区については、道路計画協議に時間を要しており、引き続き、道路計画の合意に向けた更なる協議が必要です。

2) 今後の事業スケジュール等

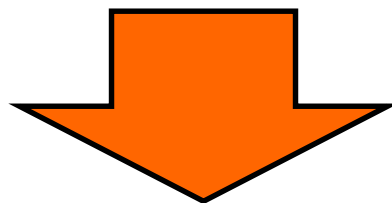
・引き続き事業を推進し、早期の開通を目指します。



区間		開通済区間	未開通区間	開通済区間		
用地		用地進捗率 約92% (第4工区 約32%)				
		用地取得済	用地取得推進	用地取得済		
工事	専用部			H12.11.1開通 (4車線)	H2.3.26開通 (4車線)	H15.11.30開通 (4車線)
	一般部	H7.7.27開通 (2車線)	調査・設計推進	H7.7.27開通 (2車線)	S55.4.23開通 (2車線)	H15.3.31開通 (2車線)

※用地取得率は令和3年3月末時点の面積ベース。

大和高田バイパスの計画は、現時点においても、交通の円滑化、交通安全の確保などを勘案し選定された合理的な計画であり、周辺環境の保全を図っています。



今後も、技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら、引き続き事業を推進していきます。

■奈良県知事

令和3年10月20日 道建第213号

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

大和高田バイパスは、中間区間が未供用であるため、前後の供用区間の交通が並行する御所香芝線に流入し、當麻寺交差点から太田南交差点間では交通量が容量を超過しており、3箇所の交差点を含む区間が、平成25年に公表された「地域の主要渋滞箇所」となっています。

この区間の交通渋滞により、沿線市を含む中和地域の医療の要である奈良県立医療大学付属病院への緊急搬送において御所香芝線を通るルート of 速達性が確保できないことなど、地域住民の生活に大きく影響を及ぼしていることから、大和高田バイパスの未供用区間を整備し、御所香芝線の円滑な交通の確保を図ることが必要です。

県としても、平成30年2月に、御所香芝線の太田南交差点において、交差点南側の大和高田バイパスから流出する右折車線の滞留スペースを確保したことで、この方向の渋滞が緩和されましたが、依然、交通渋滞が発生しているため、大和高田バイパスを計画通り完成させることが必要です。

以上のことから、対応方針(案)のとおり事業継続が妥当と考えます。

◆沿線市町村の期待

■葛城市長

(期待する効果)

①交通安全の向上

- ・大和高田バイパス第4工区の開通により、御所香芝線の渋滞が解消され、地域内の生活道路を通り抜ける交通が転換することで歩行者等の安全性が向上。

②観光

- ・アクセス性向上による、當麻寺、相撲館「けはや座」、竹内街道、二上山等への観光客数の増加。

③地域の活性化

- ・大和高田バイパス区間の沿道開発が進むことによる地域経済循環率の向上。

(市の取り組み)

①交通安全の向上

- ・大和高田バイパスの開通に合わせて、大和高田バイパスを有効に活用できるよう、交差箇所の安全性向上のための対策を推進。

②観光

- ・観光地への案内・誘導サインの整備(多言語化)、市内周遊コースの選定。
- ・日本遺産に認定された、「竹内街道」、「葛城修験」を軸として、関係自治体と協力し、誘客に向けた取り組みを推進。

③地域の活性化

- ・鉄道拠点である尺土駅の周辺及び同駅へのアクセス道路の整備を図ることで、大和高田バイパスの周辺の商業施設等都市機能を強化する。

大和高田バイパスは、事業の必要性等に関する視点、事業の進捗の見込みの視点から継続が妥当と判断できる。

引き続き事業を推進し、早期の開通を目指すことが適切である。

事業継続



No. 5
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
令和3年度第4回

一般国道165号
やま と たか だ
大和高田バイパス
【再評価】
(計算結果等参考資料)

令和3年11月
近畿地方整備局

新型コロナウイルス対策に伴う工事等の一時中止による
コスト、工期への影響は考慮していない

(再評価)

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道165号 大和高田バイパス
事業主体	近畿地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比(B/C)=1.1(経済的純現在価値(B-C)=241億円、経済的内部収益率(EIRR)=4.1%) 残事業：費用便益比(B/C)=3(経済的純現在価値(B-C)=176億円、経済的内部収益率(EIRR)=13%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a(費用便益分析対象区間)について 渋滞損失時間(現況):38499万人・時間/年 渋滞損失削減時間:19万人・時間/年(62255万人・時間/年⇒62236万人・時間/年) 区間b(当該区間/並行区間)について:一般国道165号(主)御所香芝線 国道168号(主)中和幹線 並行区間等(当該区間)の渋滞損失時間:26万人・時間/年 並行区間等(当該区間)の渋滞損失削減率:1割削減
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	国道165号(畑交差点~別所交差点)、(旅行速度12.2~19.6km/h→改善見込み) 国道165号(築山交差点~葛城川西詰交差点)、(旅行速度6.2~16km/h→改善見込み) 国道165号(曲川西交差点~曲川東交差点)、(旅行速度12.2~16.6km/h→改善見込み)
		<input type="checkbox"/> 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	奈良交通バス
		<input checked="" type="checkbox"/> 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	橿原市~天王寺駅(所要時間:70分→47分)
		<input checked="" type="checkbox"/> 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	橿原市~関西国際空港(所要時間:92分→69分)
	物流効率化の支援	<input checked="" type="checkbox"/> 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	橿原市~堺北港(75分→53分)
	<input type="checkbox"/> 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上		
	<input type="checkbox"/> 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する		

1. 活力	都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である		
		<input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する		
		<input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり		
		<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である		
		<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である		
		<input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する		
		<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる		
	国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り		
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	南阪奈道路	
		<input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する		
		<input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	大和高田市～橿原市	
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する		
		<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する		
		<input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	大和高田市～橿原市(19.0分→18.9分)	
	個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する		
		<input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する		
		<input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	橿原市〔藤原宮跡・今井町・橿原神宮他〕(年間観光客入込数:約458万人/年 H27)	
		<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である		
	2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての区間に該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
			<input type="checkbox"/> バリアフリー新法に基づく特定道路が新たにバリアフリー化される	
		無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する				
安全で安心できるくらしの確保		<input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	香芝市～奈良県立医科大学付属病院高度救命救急センター(所要時間:24分→18分)	

3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	奈良県地域防災計画（第1次緊急輸送道路）
		<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	国道165号（香芝市～橿原市）
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する			
4. 環境	地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量:1828.1t-CO2/年
	生活環境の改善・保全	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道／平行区間等）：一般国道165号（主）御所香芝線 国道168号（主）中和幹線 排出削減量：23.5t/年、排出削減率：2割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてNOx排出増加量：19.5t/年
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道／平行区間等）：一般国道165号（主）御所香芝線 国道168号（主）中和幹線 排出削減量：1.37t/年、排出削減率：2割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてSPM排出増加量：1.12t/年
		<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		<input checked="" type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	葛城市都市計画マスタープラン等
	その他	<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

(再評価)

様式-2

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・ その他の別
一般国道165号	大和高田バイパス	L=14.4km	地高	現拡・BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
27,100	2車線	近畿地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和3年度		
単純合計	906億円	295億円	1,201億円
うち残事業分	95億円	36億円	131億円
基準年における 現在価値 (C)	2,973億円	100億円	3,074億円
うち残事業分	76億円	12億円	88億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和3年度			
供用年	令和10年度			
単年便益 (初年便益)	197億円	18億円	3.8億円	219億円
基準年における 現在価値 (B)	2,980億円	277億円	58億円	3,314億円
うち残事業分	240億円	17億円	7.0億円	264億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.1
経済的純現在価値（事業全体）	241億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.1%
費用便益比（残事業）	3.0
経済的純現在価値（残事業）	176億円
経済的内部収益率（残事業）	13.0%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	27,100台/日	±10%	0.9~1.3
事業費	95億円	±10%	1.1~1.1
事業期間	6年	±20%	1.03~1.1

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	27,100台/日	±10%	2.6~3.4
事業費	95億円	±10%	2.7~3.3
事業期間	6年	±20%	2.9~3.1

交通状況の変化

様式-3①

事業名：大和高田バイパス（事業全体）

（推計時点 令和12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (14.4km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	17,800	27,100	
	走行時間 ^{※2}	[分]	1	28	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	1.98	131.42	
②主な周辺道路 ^{※4}	一般国道 165号 (13.6km)	交通量	[台/日]	12,400	7,400
		走行時間	[分]	36	30
		走行時間費用	[億円/年]	82.26	40.59
	(主)御所香 芝線 (6.2km)	交通量	[台/日]	10,400	6,000
		走行時間	[分]	14	12
		走行時間費用	[億円/年]	26.71	12.77
	国道168号 (6.6km)	交通量	[台/日]	18,000	11,800
		走行時間	[分]	27	21
		走行時間費用	[億円/年]	111.32	56.79
	(主)中和幹 線 (12.9km)	交通量	[台/日]	35,600	27,200
		走行時間	[分]	33	28
		走行時間費用	[億円/年]	201.13	129.16
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
③その他道路合計 (6,083.8km)	走行時間費用	[億円/年]	36,176.40	36,032.51	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：6,137.5km	走行時間短縮便益	[億円/年]	36,599.79	36,403.24	196.55

※1：当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

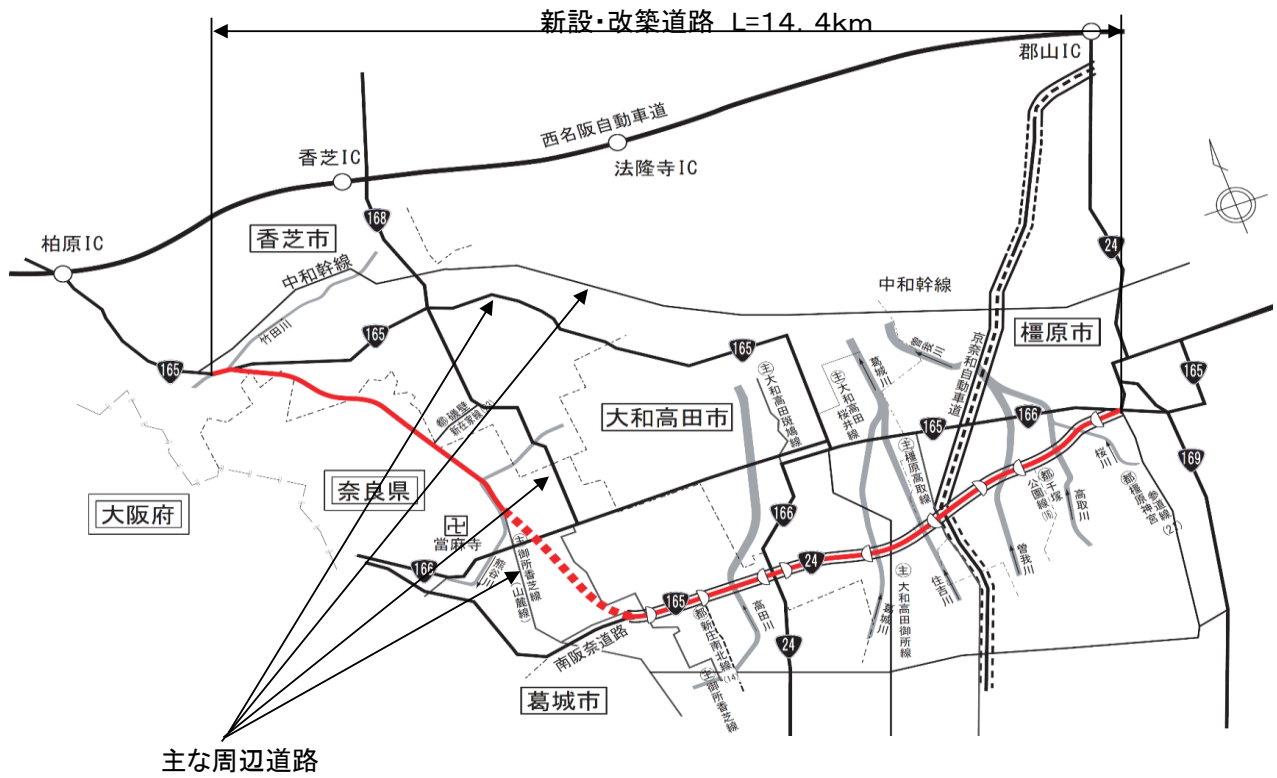
※2：配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3：費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4：当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5：②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



交通状況の変化

様式-3①

事業名：大和高田バイパス（残事業）

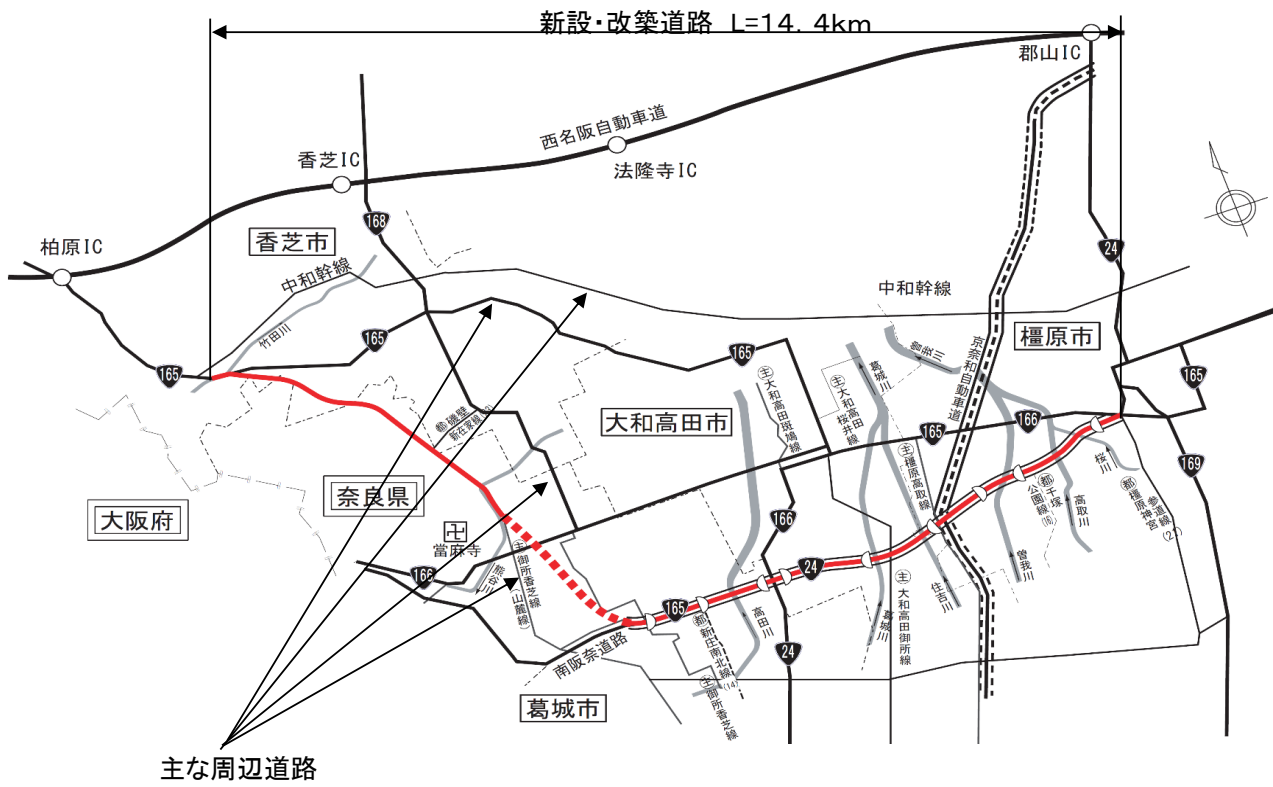
（推計時点 令和12年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (2.3km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	0	26,000	
	走行時間 ^{※2}	[分]	0	6	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	0.00	28.32	
②主な周辺道路 ^{※4}	一般国道 165号 (13.6km)	交通量	[台/日]	7,700	7,400
		走行時間	[分]	30	30
		走行時間費用	[億円/年]	42.51	40.59
	(主)御所香 芝線 (6.2km)	交通量	[台/日]	12,300	6,000
		走行時間	[分]	15	12
		走行時間費用	[億円/年]	41.21	12.77
	国道168号 (6.6km)	交通量	[台/日]	11,800	11,800
		走行時間	[分]	21	21
		走行時間費用	[億円/年]	55.36	56.79
	(主)中和幹 線 (12.9km)	交通量	[台/日]	28,700	27,200
		走行時間	[分]	29	28
		走行時間費用	[億円/年]	139.12	129.16
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
③その他道路合計 (6,095.9km)	走行時間費用	[億円/年]	36,140.80	36,135.61	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：6,137.5km	走行時間短縮便益	[億円/年]	36,419.00	36,403.24	15.76

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名：大和高田バイパス

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	令和3年	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (R12)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22センサス)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
	その他()		
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)		
	その他(BPR関数と転換率式の併用による配分)	<input checked="" type="checkbox"/>	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>	
	最終配分の速度	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、最終速度を採用。		
	その他()	<input type="checkbox"/>	

交通流推計

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日	
	冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載			
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

費用の現在価値算定表(事業全体)

箇所名:一般国道165号 大和高田バイパス

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
				0.45	14.4	6.49	
-60年目	S 43	7.9941	39.8	0.01	0.20		
-59年目	S 44	7.6866	42.0	0.12	2.22		
-58年目	S 45	7.3910	44.9	0.14	2.33		
-57年目	S 46	7.1067	47.0	0.66	10.09		
-56年目	S 47	6.8333	50.2	0.83	11.43		
-55年目	S 48	6.5705	57.8	7.77	89.34		
-54年目	S 49	6.3178	69.0	10.50	97.34		
-53年目	S 50	6.0748	72.9	18.85	158.87		
-52年目	S 51	5.8412	79.1	8.75	65.41		
-51年目	S 52	5.6165	83.8	13.39	90.77		
-50年目	S 53	5.4005	87.4	31.82	199.04		
-49年目	S 54	5.1928	89.6	31.15	182.61		
-48年目	S 55	4.9931	95.3	18.76	99.45		
-47年目	S 56	4.8010	97.8	16.46	81.81		
-46年目	S 57	4.6164	98.9	4.90	23.16		
-45年目	S 58	4.4388	99.8	9.30	41.84		
-44年目	S 59	4.2681	101.8	12.79	54.25		
-43年目	S 60	4.1039	102.6	28.11	113.78		
-42年目	S 61	3.9461	104.4	33.59	128.52		
-41年目	S 62	3.7943	104.1	43.12	158.98		
-40年目	S 63	3.6484	104.7	34.51	121.70		
-39年目	H 1	3.5081	107.5	23.98	79.23		
-38年目	H 2	3.3731	109.9	39.27	122.00		
-37年目	H 3	3.2434	112.5	35.05	102.23		
-36年目	H 4	3.1187	114.1	45.30	125.33		
-35年目	H 5	2.9987	114.4	43.30	114.85		
-34年目	H 6	2.8834	114.3	35.66	91.04		
-33年目	H 7	2.7725	113.7	15.32	37.81		
-32年目	H 8	2.6658	113.2	16.44	39.17		
-31年目	H 9	2.5633	114.2	13.38	30.39		
-30年目	H 10	2.4647	113.6	41.82	91.82		
-29年目	H 11	2.3699	112.0	35.28	75.54		
-28年目	H 12	2.2788	110.7	43.84	91.33		
-27年目	H 13	2.1911	109.4	35.01	70.96		
-26年目	H 14	2.1068	107.6	44.27	87.71		
-25年目	H 15	2.0258	106.1	9.26	17.89		
-24年目	H 16	1.9479	105.0	1.33	2.50		
-23年目	H 17	1.8730	103.7	0.10	0.17		
-22年目	H 18	1.8009	103.0	0.10	0.17		
-21年目	H 19	1.7317	102.1	0.70	1.19		
-20年目	H 20	1.6651	101.6	0.10	0.17		
-19年目	H 21	1.6010	100.3	0.10	0.15		
-18年目	H 22	1.5395	98.6	0.10	0.15		
-17年目	H 23	1.4802	97.2	0.10	0.15		
-16年目	H 24	1.4233	96.4	0.11	0.17		
-15年目	H 25	1.3686	96.4	0.10	0.14		
-14年目	H 26	1.3159	98.7	0.09	0.12		
-13年目	H 27	1.2653	100.2	0.09	0.12		
-12年目	H 28	1.2167	100.3	0.09	0.11		
-11年目	H 29	1.1699	100.5	0.93	1.09		
-10年目	H 30	1.1249	100.4	1.07	1.21		
-9年目	R 1	1.0816	101.2	1.07	1.16		
-8年目	R 2	1.0400	101.2	1.05	1.09		
-7年目	R 3	1.0000	101.2	1.07	1.07		
-6年目	R 4	0.9615	101.2	1.07	1.03		
-5年目	R 5	0.9246	101.2	14.77	13.66		
-4年目	R 6	0.8890	101.2	15.73	13.98		
-3年目	R 7	0.8548	101.2	23.18	19.82		
-2年目	R 8	0.8219	101.2	26.70	21.95		
-1年目	R 9	0.7903	101.2	13.64	10.78		
供用開始年次	R 10	0.7599	101.2			5.90	4.48
1年目	R 11	0.7307	101.2			5.90	4.31
2年目	R 12	0.7026	101.2			5.90	4.15
3年目	R 13	0.6756	101.2			5.90	3.99
4年目	R 14	0.6496	101.2			5.90	3.83
5年目	R 15	0.6246	101.2			5.90	3.69
6年目	R 16	0.6006	101.2			5.90	3.54
7年目	R 17	0.5775	101.2			5.90	3.41
8年目	R 18	0.5553	101.2			5.90	3.28
9年目	R 19	0.5339	101.2			5.90	3.15
10年目	R 20	0.5134	101.2			5.90	3.03
11年目	R 21	0.4936	101.2			5.90	2.91
12年目	R 22	0.4746	101.2			5.90	2.80
13年目	R 23	0.4564	101.2			5.90	2.69
14年目	R 24	0.4388	101.2			5.90	2.59
15年目	R 25	0.4220	101.2			5.90	2.49
16年目	R 26	0.4057	101.2			5.90	2.39
17年目	R 27	0.3901	101.2			5.90	2.30
18年目	R 28	0.3751	101.2			5.90	2.21
19年目	R 29	0.3607	101.2			5.90	2.13
20年目	R 30	0.3468	101.2			5.90	2.05
21年目	R 31	0.3335	101.2			5.90	1.97
22年目	R 32	0.3207	101.2			5.90	1.89
23年目	R 33	0.3083	101.2			5.90	1.82
24年目	R 34	0.2965	101.2			5.90	1.75
25年目	R 35	0.2851	101.2			5.90	1.68
26年目	R 36	0.2741	101.2			5.90	1.62
27年目	R 37	0.2636	101.2			5.90	1.56
28年目	R 38	0.2534	101.2			5.90	1.50
29年目	R 39	0.2437	101.2			5.90	1.44
30年目	R 40	0.2343	101.2			5.90	1.38
31年目	R 41	0.2253	101.2			5.90	1.33
32年目	R 42	0.2166	101.2			5.90	1.28
33年目	R 43	0.2083	101.2			5.90	1.23
34年目	R 44	0.2003	101.2			5.90	1.18
35年目	R 45	0.1926	101.2			5.90	1.14
36年目	R 46	0.1852	101.2			5.90	1.09
37年目	R 47	0.1780	101.2			5.90	1.05
38年目	R 48	0.1712	101.2			5.90	1.01
39年目	R 49	0.1646	101.2			5.90	0.97
40年目	R 50	0.1583	101.2			5.90	0.93
41年目	R 51	0.1522	101.2			5.90	0.90
42年目	R 52	0.1463	101.2			5.90	0.86
43年目	R 53	0.1407	101.2			5.90	0.83
44年目	R 54	0.1353	101.2			5.90	0.80
45年目	R 55	0.1301	101.2			5.90	0.77
46年目	R 56	0.1251	101.2			5.90	0.74
47年目	R 57	0.1203	101.2			5.90	0.71
48年目	R 58	0.1157	101.2			5.90	0.68
49年目	R 59	0.1112	101.2	-262.87	-29.23	5.90	0.66
合計				643.20	2973.36	295.00	100.19
単純事業費計				906.07		295.00	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(残事業)

箇所名:一般国道165号 大和高田バイパス

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
				0.35		2.3	0.80
-6年目	R 4	0.9615	101.2	1.07	1.03		
-5年目	R 5	0.9246	101.2	14.77	13.66		
-4年目	R 6	0.8890	101.2	15.73	13.98		
-3年目	R 7	0.8548	101.2	23.18	19.82		
-2年目	R 8	0.8219	101.2	26.70	21.95		
-1年目	R 9	0.7903	101.2	13.64	10.78		
供用開始年次	R 10	0.7599	101.2			0.73	0.55
1年目	R 11	0.7307	101.2			0.73	0.53
2年目	R 12	0.7026	101.2			0.73	0.51
3年目	R 13	0.6756	101.2			0.73	0.49
4年目	R 14	0.6496	101.2			0.73	0.47
5年目	R 15	0.6246	101.2			0.73	0.45
6年目	R 16	0.6006	101.2			0.73	0.44
7年目	R 17	0.5775	101.2			0.73	0.42
8年目	R 18	0.5553	101.2			0.73	0.40
9年目	R 19	0.5339	101.2			0.73	0.39
10年目	R 20	0.5134	101.2			0.73	0.37
11年目	R 21	0.4936	101.2			0.73	0.36
12年目	R 22	0.4746	101.2			0.73	0.35
13年目	R 23	0.4564	101.2			0.73	0.33
14年目	R 24	0.4388	101.2			0.73	0.32
15年目	R 25	0.4220	101.2			0.73	0.31
16年目	R 26	0.4057	101.2			0.73	0.30
17年目	R 27	0.3901	101.2			0.73	0.28
18年目	R 28	0.3751	101.2			0.73	0.27
19年目	R 29	0.3607	101.2			0.73	0.26
20年目	R 30	0.3468	101.2			0.73	0.25
21年目	R 31	0.3335	101.2			0.73	0.24
22年目	R 32	0.3207	101.2			0.73	0.23
23年目	R 33	0.3083	101.2			0.73	0.22
24年目	R 34	0.2965	101.2			0.73	0.22
25年目	R 35	0.2851	101.2			0.73	0.21
26年目	R 36	0.2741	101.2			0.73	0.20
27年目	R 37	0.2636	101.2			0.73	0.19
28年目	R 38	0.2534	101.2			0.73	0.18
29年目	R 39	0.2437	101.2			0.73	0.18
30年目	R 40	0.2343	101.2			0.73	0.17
31年目	R 41	0.2253	101.2			0.73	0.16
32年目	R 42	0.2166	101.2			0.73	0.16
33年目	R 43	0.2083	101.2			0.73	0.15
34年目	R 44	0.2003	101.2			0.73	0.15
35年目	R 45	0.1926	101.2			0.73	0.14
36年目	R 46	0.1852	101.2			0.73	0.13
37年目	R 47	0.1780	101.2			0.73	0.13
38年目	R 48	0.1712	101.2			0.73	0.12
39年目	R 49	0.1646	101.2			0.73	0.12
40年目	R 50	0.1583	101.2			0.73	0.12
41年目	R 51	0.1522	101.2			0.73	0.11
42年目	R 52	0.1463	101.2			0.73	0.11
43年目	R 53	0.1407	101.2			0.73	0.10
44年目	R 54	0.1353	101.2			0.73	0.10
45年目	R 55	0.1301	101.2			0.73	0.09
46年目	R 56	0.1251	101.2			0.73	0.09
47年目	R 57	0.1203	101.2			0.73	0.09
48年目	R 58	0.1157	101.2			0.73	0.08
49年目	R 59	0.1112	101.2	-47.30	-5.26	0.73	0.08
合計				47.79	75.96	36.36	12.32
単純事業費計					95.09		36.36

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表（残事業）

箇所名： 一般国道165号 大和高田バイパス

年次	R 3	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿内陸ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間便益 (億円)					走行経費便益 (億円)					事故減少便益 (億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	割引率4%
供用開始年次	R 10	0.99914	0.98549	1.00641	0.99806	0.7599	101.2	9.86	2.56	3.38	15.81	12.01	0.70	0.13	0.29	1.12	0.85	0.47	0.36	17.40	13.22
1年目	R 11	0.99914	0.98528	1.00637	0.99806	0.7307	101.2	9.86	2.53	3.40	15.78	11.53	0.70	0.13	0.29	1.12	0.82	0.47	0.34	17.37	12.69
2年目	R 12	0.99197	0.99076	0.99801	0.99265	0.7026	101.2	9.85	2.49	3.42	15.76	11.07	0.70	0.13	0.29	1.12	0.79	0.47	0.33	17.35	12.19
3年目	R 13	0.99190	0.99067	0.99800	0.99259	0.6756	101.2	9.77	2.47	3.42	15.65	10.57	0.69	0.12	0.29	1.11	0.75	0.46	0.31	17.23	11.64
4年目	R 14	0.99183	0.99059	0.99800	0.99254	0.6496	101.2	9.69	2.44	3.41	15.54	10.10	0.69	0.12	0.29	1.10	0.72	0.46	0.30	17.11	11.11
5年目	R 15	0.99177	0.99050	0.99800	0.99248	0.6246	101.2	9.61	2.42	3.40	15.43	9.64	0.68	0.12	0.29	1.10	0.68	0.46	0.28	16.99	10.61
6年目	R 16	0.99170	0.99041	0.99799	0.99242	0.6006	101.2	9.53	2.40	3.40	15.33	9.20	0.68	0.12	0.29	1.09	0.65	0.45	0.27	16.87	10.13
7年目	R 17	0.99163	0.99031	0.99799	0.99237	0.5775	101.2	9.45	2.37	3.39	15.22	8.79	0.67	0.12	0.29	1.08	0.62	0.45	0.26	16.75	9.67
8年目	R 18	0.99156	0.99022	0.99798	0.99231	0.5553	101.2	9.37	2.35	3.38	15.11	8.39	0.67	0.12	0.29	1.07	0.60	0.45	0.25	16.63	9.23
9年目	R 19	0.99149	0.99012	0.99798	0.99225	0.5339	101.2	9.29	2.33	3.38	15.00	8.01	0.66	0.12	0.29	1.07	0.57	0.44	0.24	16.51	8.81
10年目	R 20	0.99141	0.99002	0.99798	0.99219	0.5134	101.2	9.22	2.30	3.37	14.89	7.64	0.66	0.12	0.29	1.06	0.54	0.44	0.23	16.39	8.41
11年目	R 21	0.99134	0.98992	0.99797	0.99213	0.4936	101.2	9.14	2.28	3.36	14.78	7.30	0.65	0.12	0.29	1.05	0.52	0.43	0.21	16.27	8.03
12年目	R 22	0.99126	0.98982	0.99797	0.99206	0.4746	101.2	9.06	2.26	3.36	14.67	6.96	0.64	0.11	0.29	1.04	0.50	0.43	0.20	16.15	7.66
13年目	R 23	0.99119	0.98971	0.99796	0.99200	0.4564	101.2	8.98	2.24	3.35	14.56	6.65	0.64	0.11	0.29	1.04	0.47	0.43	0.20	16.03	7.32
14年目	R 24	0.99111	0.98961	0.99796	0.99194	0.4388	101.2	8.90	2.21	3.34	14.45	6.34	0.63	0.11	0.29	1.03	0.45	0.42	0.19	15.91	6.98
15年目	R 25	0.99103	0.98950	0.99796	0.99187	0.4220	101.2	8.82	2.19	3.34	14.34	6.05	0.63	0.11	0.29	1.02	0.43	0.42	0.18	15.79	6.66
16年目	R 26	0.99095	0.98939	0.99795	0.99180	0.4057	101.2	8.74	2.17	3.33	14.24	5.78	0.62	0.11	0.28	1.02	0.41	0.42	0.17	15.67	6.36
17年目	R 27	0.99086	0.98927	0.99795	0.99174	0.3901	101.2	8.66	2.14	3.32	14.13	5.51	0.62	0.11	0.28	1.01	0.39	0.41	0.16	15.55	6.07
18年目	R 28	0.99078	0.98916	0.99794	0.99167	0.3751	101.2	8.58	2.12	3.32	14.02	5.26	0.61	0.11	0.28	1.00	0.38	0.41	0.15	15.43	5.79
19年目	R 29	0.99069	0.98904	0.99794	0.99160	0.3607	101.2	8.50	2.10	3.31	13.91	5.02	0.60	0.11	0.28	0.99	0.36	0.41	0.15	15.31	5.52
20年目	R 30	0.99061	0.98892	0.99793	0.99153	0.3468	101.2	8.42	2.07	3.30	13.80	4.79	0.60	0.10	0.28	0.99	0.34	0.40	0.14	15.19	5.27
21年目	R 31	0.99052	0.98879	0.99793	0.99145	0.3335	101.2	8.34	2.05	3.30	13.69	4.57	0.59	0.10	0.28	0.98	0.33	0.40	0.13	15.07	5.03
22年目	R 32	0.99043	0.98867	0.99793	0.99138	0.3207	101.2	8.27	2.03	3.29	13.58	4.36	0.59	0.10	0.28	0.97	0.31	0.40	0.13	14.95	4.79
23年目	R 33	0.99034	0.98854	0.99792	0.99130	0.3083	101.2	8.19	2.01	3.28	13.47	4.15	0.58	0.10	0.28	0.96	0.30	0.39	0.12	14.83	4.57
24年目	R 34	0.99024	0.98840	0.99792	0.99123	0.2965	101.2	8.11	1.98	3.27	13.36	3.96	0.58	0.10	0.28	0.96	0.28	0.39	0.12	14.71	4.36
25年目	R 35	0.99014	0.98827	0.99791	0.99115	0.2851	101.2	8.03	1.96	3.27	13.26	3.78	0.57	0.10	0.28	0.95	0.27	0.39	0.11	14.59	4.16
26年目	R 36	0.99005	0.98813	0.99791	0.99107	0.2741	101.2	7.95	1.94	3.26	13.15	3.60	0.57	0.10	0.28	0.94	0.26	0.38	0.11	14.47	3.97
27年目	R 37	0.98995	0.98798	0.99790	0.99099	0.2636	101.2	7.87	1.91	3.25	13.04	3.44	0.56	0.10	0.28	0.93	0.25	0.38	0.10	14.35	3.78
28年目	R 38	0.98984	0.98784	0.99790	0.99091	0.2534	101.2	7.79	1.89	3.25	12.93	3.28	0.55	0.10	0.28	0.93	0.23	0.38	0.10	14.23	3.61
29年目	R 39	0.98974	0.98769	0.99790	0.99083	0.2437	101.2	7.71	1.87	3.24	12.82	3.12	0.55	0.09	0.28	0.92	0.22	0.37	0.09	14.11	3.44
30年目	R 40	0.98963	0.98754	0.99789	0.99074	0.2343	101.2	7.63	1.84	3.23	12.71	2.98	0.54	0.09	0.28	0.91	0.21	0.37	0.09	13.99	3.28
31年目	R 41	0.98953	0.98738	0.99789	0.99065	0.2253	101.2	7.55	1.82	3.23	12.60	2.84	0.54	0.09	0.28	0.90	0.20	0.37	0.08	13.87	3.13
32年目	R 42	0.98941	0.98722	0.99788	0.99057	0.2166	101.2	7.47	1.80	3.22	12.49	2.71	0.53	0.09	0.28	0.90	0.19	0.36	0.08	13.75	2.98
33年目	R 43	0.98930	0.98705	0.99788	0.99048	0.2083	101.2	7.40	1.78	3.21	12.38	2.58	0.53	0.09	0.27	0.89	0.19	0.36	0.07	13.63	2.84
34年目	R 44	0.98919	0.98688	0.99787	0.99039	0.2003	101.2	7.32	1.75	3.21	12.28	2.46	0.52	0.09	0.27	0.88	0.18	0.36	0.07	13.51	2.71
35年目	R 45	0.98907	0.98671	0.99787	0.99029	0.1926	101.2	7.24	1.73	3.20	12.17	2.34	0.51	0.09	0.27	0.88	0.17	0.35	0.07	13.39	2.58
36年目	R 46	0.98895	0.98653	0.99786	0.99020	0.1852	101.2	7.16	1.71	3.19	12.06	2.23	0.51	0.09	0.27	0.87	0.16	0.35	0.06	13.27	2.46
37年目	R 47	0.98882	0.98634	0.99786	0.99010	0.1780	101.2	7.08	1.68	3.19	11.95	2.13	0.50	0.08	0.27	0.86	0.15	0.35	0.06	13.15	2.34
38年目	R 48	0.98870	0.98615	0.99785	0.99000	0.1712	101.2	7.00	1.66	3.18	11.84	2.03	0.50	0.08	0.27	0.85	0.15	0.34	0.06	13.04	2.23
39年目	R 49	0.98857	0.98596	0.99785	0.98990	0.1646	101.2	6.92	1.64	3.17	11.73	1.93	0.49	0.08	0.27	0.85	0.14	0.34	0.06	12.92	2.13
40年目	R 50	0.98844	0.98576	0.99785	0.98980	0.1583	101.2	6.84	1.61	3.17	11.62	1.84	0.49	0.08	0.27	0.84	0.13	0.34	0.05	12.80	2.03
41年目	R 51	0.98830	0.98555	0.99784	0.98969	0.1522	101.2	6.76	1.59	3.16	11.51	1.75	0.48	0.08	0.27	0.83	0.13	0.33	0.05	12.68	1.93
42年目	R 52	0.98816	0.98534	0.99784	0.98958	0.1463	101.2	6.68	1.57	3.15	11.40	1.67	0.48	0.08	0.27	0.82	0.12	0.33	0.05	12.56	1.84
43年目	R 53	0.98802	0.98513	0.99783	0.98947	0.1407	101.2	6.60	1.55	3.15	11.29	1.59	0.47	0.08	0.27	0.82	0.11	0.33	0.05	12.44	1.75
44年目	R 54	0.98787	0.98490	0.99783	0.98936	0.1353	101.2	6.52	1.52	3.14	11.19	1.51	0.46	0.08	0.27	0.81	0.11	0.32	0.04	12.32	1.67
45年目	R 55	0.98773	0.98467	0.99782	0.98925	0.1301	101.2	6.45	1.50	3.13	11.08	1.44	0.46	0.08	0.27	0.80	0.10	0.32	0.04	12.20	1.59
46年目	R 56	0.98757	0.98443	0.99782	0.98913	0.1251	101.2	6.37	1.48	3.12	10.97	1.37	0.45	0.07	0.27	0.79	0.10	0.32	0.04	12.08	1.51
47年目	R 57	0.98742	0.98418	0.99781	0.98901	0.1203	101.2	6.29	1.45	3.12	10.86	1.31	0.45	0.07	0.27	0.79	0.09	0.31	0.04	11.96	1.44
48年目	R 58	0.98726	0.98393	0.99781	0.98889	0.1157	101.2	6.21	1.43	3.11	10.75	1.24	0.44	0.07	0.27	0.78	0.09	0.31	0.04	11.84	1.37
49年目	R 59	0.98709	0.98367	0.99780	0.98876	0.1112	101.2	6.13	1.41	3.10	10.64	1.18	0.44	0.07	0.27	0.77	0.09	0.30	0.03	11.72	1.30
合計								403.18	98.58	163.48	665.25	240.00	28.66	4.97	13.98	47.61	17.12	19.43	7.04	732.29	264.17

参考様式1

(事業全体)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道165号	大和高田バイパス	4、2	14.4km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考	
①工事費					48,781		
	改良費					8,429	
		土工		m ³	1,003,549	6,169	
		軟弱地盤改良工		m ³			
		法面工		m ²	30,598	11	切土法面、盛土法面
		擁壁工		式	1	1,901	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
	函渠工		m	2,918	348		
	橋梁費					36,060	
		100m以上		m	8,015	34,826	連続高架288橋
		100m未満		m	324	1,234	PC橋1橋、鋼橋1橋
	トンネル費						
		NATM		m			
	シールド		m				
	IC・JCT費						
		IC		箇所			
	JCT		箇所				
	舗装費					2,197	
		車道舗装		m ²	356,104	1,851	
		歩道舗装		m ²	94,695	346	
	付帯施設費					2,095	
交通管理施設工			式	1	1,604	転落防止柵、防護柵、植樹、情報管路、フェンス等	
遮音壁			m	8,175	491		
②用地及補償費					30,978		
	用地費		m ²	459,300	26,287		
		宅地		m ²	40,553	4,879	
		田畑		m ²	418,747	21,408	
		山林・原野		m ²			
		その他		m ²			
補償費		式	1	4,691			
③間接経費			式	1	13,241	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費	
全体事業費					93,000		

事業全体

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道165号	大和高田バイパス	2,4	14.4km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	14.4	4,900	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	27,550	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			32,450	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

参考様式1

(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道165号	大和高田バイパス	4、2	2.3km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考	
①工事費					3,542		
	改良費					2,442	
		土工	m ³	87,232	1,810		
		軟弱地盤改良工	m ³				
		法面工	m ²	4,270	3	切土法面、盛土法面	
		擁壁工	式	1	564	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等	
	函渠工	m	378	65			
	橋梁費						
		100m以上	m				
		100m未満	m				
	トンネル費						
		NATM	m				
		シールド	m				
	IC・JCT費						
		IC	箇所				
		JCT	箇所				
	舗装費					643	
		車道舗装	m ²	40,576	517		
		歩道舗装	m ²	13,975	126		
	付帯施設費					457	
交通管理施設工		式	1	457	転落防止柵、防護柵、植樹、情報管路、フェンス等		
遮音壁		m					
②用地及補償費					5,484		
	用地費			m ²	34,720	4,730	
		宅地	m ²	13,741	2,674		
		田畑	m ²	20,979	2,056		
		山林・原野	m ²				
		その他	m ²				
補償費	式	1	754				
③間接経費			式	1	961	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費	
全体事業費					9,987		

残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道165号	大和高田バイパス	2	2.3km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	2.3	750	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	3,250	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			4,000	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

国近整企画第73号
令和3年10月12日

奈良県知事 殿

近畿地方整備局長
(公印省略)

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針
(原案)の作成に係る意見照会について(依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、近畿地方整備局事業評価監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、令和3年11月2日(火)に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、令和3年10月25日(月)までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・お問い合わせ先

近畿地方整備局 企画部 企画課 事業評価係

電話 06-6942-1141

FAX 06-6942-7463

(再評価)

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道165号大和高田バイパス	事業継続	
一般国道25号斑鳩バイパス	事業継続	

※貴職の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

道 建 第 213号
令和3年 10月20日

近畿地方整備局長 殿

奈良県知事 荒井 正吾



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）
の作成に係る意見照会について（回答）

令和3年10月12日付け、国近整企画第73号で照会のありました標
記の件について、別紙のとおり回答します。

【一般国道165号 大和高田バイパス】

大和高田バイパスは、中間区間が未供用であるため、前後の供用区間の交通が並行する御所香芝線に流入し、當麻寺交差点から太田南交差点間では交通量が容量を超過しており、3箇所の交差点を含む区間が、平成25年に公表された「地域の主要渋滞箇所」となっています。

この区間の交通渋滞により、沿線市を含む中和地域の医療の要である奈良県立医科大学付属病院への緊急搬送において御所香芝線を通るルートの上達性が確保できないことなど、地域住民の生活に大きく影響を及ぼしていることから、大和高田バイパスの未供用区間を整備し、御所香芝線の円滑な交通の確保を図ることが必要です。

県としても、平成30年2月に、御所香芝線の太田南交差点において、交差点南側の大和高田バイパスから流出する右折車線の滞留スペースを確保したことで、この方向の渋滞が緩和されましたが、依然、交通渋滞が発生しているため、大和高田バイパスを計画どおり完成させることが必要です。

以上のことから、対応方針（案）のとおり事業継続が妥当と考えます。